

第91回奈良CBC練習会ハンド 2014-08-21

<p>No. 1</p> <p>♠ K65 ♥ KQ ♦ AJ986 ♣ 854</p> <p>♠ AQ82 ♥ AJ10875 ♦ 3 ♣ 97</p> <p>♠ 3 ♥ 9642 ♦ 742 ♣ AQJ62</p> <p>♠ J10974 ♥ 3 ♦ KQ105 ♣ K103</p>	<p>No. 2</p> <p>♠ K84 ♥ A862 ♦ A95 ♣ 863</p> <p>♠ Q ♥ 9754 ♦ J8763 ♣ J102</p> <p>♠ J52 ♥ J10 ♦ K102 ♣ AK974</p> <p>♠ A109763 ♥ KQ3 ♦ Q4 ♣ Q5</p>	<p>No. 3</p> <p>♠ J7 ♥ K9654 ♦ KQJ76 ♣ 2</p> <p>♠ 10 ♥ AJ87 ♦ 104 ♣ AKQ974</p> <p>♠ KQ86543 ♥ Q102 ♦ — ♣ J103</p> <p>♠ A92 ♥ 3 ♦ A98532 ♣ 865</p>	<p>No. 4</p> <p>♠ 632 ♥ KQ8 ♦ AQJ107 ♣ 62</p> <p>♠ AK10985 ♥ 42 ♦ 5 ♣ AK54</p> <p>♠ J7 ♥ A1065 ♦ K94 ♣ 9873</p> <p>♠ Q4 ♥ J973 ♦ 8632 ♣ QJ10</p>	<p>No. 5</p> <p>♠ 62 ♥ KJ73 ♦ QJ1064 ♣ 105</p> <p>♠ Q10874 ♥ AQ985 ♦ — ♣ 942</p> <p>♠ AK9 ♥ 42 ♦ AK72 ♣ AK87</p> <p>♠ J53 ♥ 106 ♦ 9853 ♣ QJ63</p>	<p>No. 6</p> <p>♠ 2 ♥ Q87643 ♦ Q5432 ♣ 9</p> <p>♠ 1076 ♥ 1092 ♦ 986 ♣ AK63</p> <p>♠ AQJ9853 ♥ J ♦ A10 ♣ 754</p> <p>♠ K4 ♥ AK5 ♦ KJ7 ♣ QJ1082</p>
<p>No. 7</p> <p>♠ QJ852 ♥ 9 ♦ AQ102 ♣ J97</p> <p>♠ A4 ♥ Q5 ♦ J9763 ♣ K854</p> <p>♠ 973 ♥ K7432 ♦ 5 ♣ AQ62</p> <p>♠ K106 ♥ AJ1086 ♦ K84 ♣ 103</p>	<p>No. 8</p> <p>♠ J8 ♥ 10964 ♦ Q32 ♣ AJ63</p> <p>♠ Q97432 ♥ AQ7 ♦ A76 ♣ 5</p> <p>♠ A1065 ♥ 85 ♦ 84 ♣ K10984</p> <p>♠ K ♥ KJ32 ♦ KJ1095 ♣ Q72</p>	<p>No. 9</p> <p>♠ 4 ♥ AQ7543 ♦ 10982 ♣ 87</p> <p>♠ KQ96 ♥ KJ8 ♦ 743 ♣ AQ3</p> <p>♠ AJ8753 ♥ — ♦ AQ6 ♣ K1065</p> <p>♠ 102 ♥ 10962 ♦ KJ5 ♣ J942</p>	<p>No. 10</p> <p>♠ Q8 ♥ K9 ♦ AQJ9763 ♣ 102</p> <p>♠ J109652 ♥ J85 ♦ — ♣ Q854</p> <p>♠ 4 ♥ AQ1074 ♦ 10854 ♣ KJ3</p> <p>♠ AK73 ♥ 632 ♦ K2 ♣ A976</p>	<p>No. 11</p> <p>♠ 10 ♥ Q8 ♦ AK10853 ♣ AJ65</p> <p>♠ K843 ♥ 765 ♦ J7 ♣ 9842</p> <p>♠ Q976 ♥ J1093 ♦ Q42 ♣ 73</p> <p>♠ AJ52 ♥ AK42 ♦ 96 ♣ KQ10</p>	<p>No. 12</p> <p>♠ A3 ♥ Q76 ♦ KJ84 ♣ AK85</p> <p>♠ 109654 ♥ AK ♦ 10953 ♣ 72</p> <p>♠ KQJ72 ♥ 98543 ♦ A ♣ J9</p> <p>♠ 8 ♥ J102 ♦ Q762 ♣ Q10643</p>
<p>No. 13</p> <p>♠ KJ3 ♥ KJ10 ♦ 10743 ♣ AJ5</p> <p>♠ — ♥ 9765432 ♦ K2 ♣ 10932</p> <p>♠ Q852 ♥ AQ ♦ J985 ♣ Q76</p> <p>♠ A109764 ♥ 8 ♦ AQ6 ♣ K84</p>	<p>No. 14</p> <p>♠ Q10954 ♥ 97532 ♦ 84 ♣ 3</p> <p>♠ K3 ♥ A1064 ♦ AK1097 ♣ QJ</p> <p>♠ AJ2 ♥ Q8 ♦ J2 ♣ AK8654</p> <p>♠ 876 ♥ KJ ♦ Q653 ♣ 10972</p>	<p>No. 15</p> <p>♠ A854 ♥ AJ6 ♦ AJ4 ♣ AK10</p> <p>♠ K97 ♥ 9 ♦ 108762 ♣ Q743</p> <p>♠ J32 ♥ 1052 ♦ Q9 ♣ J9852</p> <p>♠ Q106 ♥ KQ8743 ♦ K53 ♣ 6</p>	<p>No. 16</p> <p>♠ Q1064 ♥ 983 ♦ K92 ♣ Q87</p> <p>♠ 32 ♥ KQJ105 ♦ AQJ103 ♣ 5</p> <p>♠ AK87 ♥ 762 ♦ 754 ♣ K93</p> <p>♠ J95 ♥ A4 ♦ 86 ♣ AJ10642</p>	<p>No. 17</p> <p>♠ A10 ♥ Q108 ♦ AKQJ5 ♣ 1092</p> <p>♠ 875 ♥ K965 ♦ 108 ♣ A864</p> <p>♠ 943 ♥ 7432 ♦ 9764 ♣ 73</p> <p>♠ KQJ62 ♥ AJ ♦ 32 ♣ KQJ5</p>	<p>No. 18</p> <p>♠ QJ7 ♥ QJ108 ♦ 94 ♣ QJ96</p> <p>♠ AK985 ♥ 5 ♦ J103 ♣ A872</p> <p>♠ 432 ♥ A743 ♦ AKQ ♣ J54</p> <p>♠ 106 ♥ K962 ♦ 87652 ♣ K10</p>
<p>No. 19</p> <p>♠ 5 ♥ 643 ♦ 962 ♣ KQ10854</p> <p>♠ AKQ4 ♥ K82 ♦ KJ5 ♣ J92</p> <p>♠ 109632 ♥ AJ75 ♦ AQ ♣ 63</p> <p>♠ J87 ♥ Q109 ♦ 108743 ♣ A7</p>	<p>No. 20</p> <p>♠ K82 ♥ 873 ♦ AJ2 ♣ KJ75</p> <p>♠ J109 ♥ KQ65 ♦ 763 ♣ 1084</p> <p>♠ A53 ♥ 10942 ♦ KQ854 ♣ A</p> <p>♠ Q764 ♥ AJ ♦ 109 ♣ Q9632</p>	<p>No. 21</p> <p>♠ 1052 ♥ K96 ♦ 75 ♣ A10832</p> <p>♠ J63 ♥ 1074 ♦ KJ643 ♣ J7</p> <p>♠ AQ974 ♥ 32 ♦ A82 ♣ Q95</p> <p>♠ K8 ♥ AQJ85 ♦ Q109 ♣ K64</p>	<p>585-456</p>		

☆ ビッド・プレーに関するコメント (色々と独断や間違いがあると思いますので参考程度に留めて下さい)

No. 1

♠ K65			
♥ KQ			
♦ AJ986			
♣ 854			
♠ AQ82	♠ 3		
♥ AJ10875	♥ 9642		
♦ 3	♦ 742		
♣ 97	♣ AQJ62		
	♠ J10974		
	♥ 3		
	♦ KQ105		
	♣ K103		

N	E	S	W
1♦	P	1♠	2♥
X	3♥	3♠	4♥
P	end		
(4♠	P	P	X(P)
end	)		

Sの1♠レスポンスに、Wが2♥のOCを掛けるので、NはSupport double (Support3枚、普通のOP)を掛ける。Eはパスをせず、3♥をビッドするのが普通である。これに対してSが3♠をビッドすると、Wは4♥をビッドすることになりそうである(Eの3♥をSがパスすれば、Wもパスする可能性が高い)。Wの4♥レイズに対して、Nでダウン覚悟(？ Sの♠が5枚か6枚かは不明)で4♠をビッドするかの判断が難しい。  
4♥/W ; OL: ♣5(4) Declarerは♥が2-1の分れなら♥1♦1♠1のルーザーで4メイク出来るプレーを組み立てる。OLはダミーの♣Aで勝ち、♥Aを取り♥を出して♥Kを追い出す。この後♦1個と♣Kに負けただけで4メイクになる(ハンドの♠のルーザーはダミーの♣Jで1枚捨て残りの2枚はダミーでラフする)。  
4♠(X)/S OL: ♦3 Declarerはハンドの♦Kで勝ち、♠Jを出し、Wは♠Aで勝ち、♣9を出す。Eは♣Aで勝ち、♦をリターンしてWがラフすれば1ダウンになるが、2ダウンはしない(♣AがEにあるので)。OLが♣9でEが♣Jを出してSの♣Kを追い出すDefenseをすれば2ダウンになるが現実には難しい。お互いにNonVulながら4♥のメイクは固いので、ビッドとしては4♠Xが正解となる。  
10テーブルのチーム戦: 4♠/S 5T、 4♥/W 3T、 3♠/S 2T であった。

No. 2

♠ K84			
♥ A862			
♦ A95			
♣ 863			
♠ Q	♠ J52		
♥ 9754	♥ J10		
♦ J8763	♦ K102		
♣ J102	♣ AK974		
	♠ A109763		
	♥ KQ3		
	♦ Q4		
	♣ Q5		

N	E	S	W
	1♣	1♠	P
2♣	P	4♠	end
		(3♠	P
4♠	end	)	

Eのハンドで1♣でOPするか、パスするかはペアーによる。最近ではOPする人が多いかも？ Eの1♣にSが1♠のOCした場合、Nは2♣のCue-bidをして、Sが4♠or3♠をビッドするので、4♠になる(左上)。一方、Eがパスした時はSが1♠でOPするので、Nの1NT(Forcing)経由か、3♠へのジャンプレスポンスで4♠に収まるのが普通。  
4♠/S OL: ♣J Declarerは♣の3巡目をハンドでラフ。♠6♥3♦1勝てれば4メイクだが・・・。  
そこでハンドから♠を出すかWから♠Qが出てダミーの♠Kで勝った。♠の分かれを如何に考えるか？  
① 2-2でWが♠QJを持っていたとするか、② 3-1でEが♠JXX3枚であるとするか？  
♠の2巡目にダミーから♠4を引いてハンドから♠Aor♠10の何れを出すか？ ♠でルーザーが出る確率は何れも約50%。♠で1ルーザー出ると、普通♦で1ルーザー出るので、1ダウンになる。しかし、♥が3-3の分かれの場合には♥の4枚目でハンドの♦を1個捨てられて、4メイクに可能になるので、これに期待するしかない。但し、♠2巡目に♠Aを勝って、♠JがEに残った場合に、♥K♥Q♥Aと♥を3巡回した時に、Eの♥が2枚で3巡目の♥AをEがウっかり♠Jでラフした場合は、4メイクになる(Eには♦か♣しか残っていない。♦が出されればビッドから♦KはEにあるとしてDeclarerは♦Qを出す)。Defenseの間違いも期待するとしたら、♠の2巡目はフィネスせずに♠Aを出すのが後悔しないプレーかも知れない。ゲスのハズレ・当りは仕方なし。

No. 3

♠ J7			
♥ K9654			
♦ KQJ76			
♣ 2			
♠ 10	♠ KQ86543		
♥ AJ87	♥ Q102		
♦ 104	♦ —		
♣ AKQ974	♣ J103		
	♠ A92		
	♥ 3		
	♦ A98532		
	♣ 865		

N	E	S	W
		P	1♣
2NT	3♠	4♦	P
P	4♠	P(5♦)	P
5♦	P	P	X
end			
	(5♠	P	P
6♦	P	P	X
end)			

Wの1♣にNでUnusual 2NTのOC(♥♦5-5を示す)を掛けるとどうなるか。5♦/Sまで上がる？ Nがパスした時は、Eの1♠レスポンスに対して、NonVulのSが気楽に2♦のOCを掛けても、ビッドはややこしくなる。Wが3♠をリビッドし、Eのビッドによっては4♠/E、5♣/Wに納まる事が考えられるが、Nがサクリフェイス気味に5♦をビッドすることもあり得る。  
5♦/S OL: ♣K 続いて♠10→♠J→♠Q→♠A ♦K♦Aと♦を集め、ハンドから♥3を出す。Wは♥Aで勝ち、♣Qを出す(♠を出せないのが)、ダミーでラフ、♥K(ハンドから♠2を捨てる)、♥ラフ、♣ラフでダミーに入り、♥をハンドでラフ、♦でダミーに入り、♥の5枚目でハンドの♠9を捨てて5メイク。尚、最初、♥Aを勝つ前に、♣KQと続けられて、ダミーでラフすると1ダウンになる(ルーザー♠1♥1♠1)。  
5♣/W OL: ♦K ダミーでラフ。♦を再度ラフして♣を集めれば、5メイクは固い。  
5♠/E OL: ♦A Declarerはハンドでラフし、♠を集めて♠で2ルーザー出ても5メイクは固い。(OLが♣の時のみ1ダウン可能(Sの♠9が勝てる)だが、現実的でない)。  
10テーブルのチーム戦 コントラクトは 6♦X/S 1T; 5♦X/S 3T; 5♦/SN 2T; 5♠/E 1T; 4♠/E 2T ; 3♠/E 1T 5♦をメイクしたのが2Tあった。4♠5♣で収まったテーブルは無かった。

No. 4

♠ 632  
♥ KQ8  
♦ AQJ107  
♣ 62

♠ AK10985  
♥ 42  
♦ 5  
♣ AK54

	N	
W	+	E
	S	

♠ J7  
♥ A1065  
♦ K94  
♣ 9873

♠ Q4  
♥ J973  
♦ 8632  
♣ QJ10

N	E	S	W
			1♠
2♦	X	3♦	3♠
P	P	end	
	(4♠)		
N	E	S	W
			1♠
2♦	X	P	3♠
P	4♠	end	

Wの1♠にNが2♦のOCを掛ける。これに対してEはネガティブ・ダブルをかけて8hcp upと暗に♥4枚を示す。これに対してSがパスするか、9枚フィットで3♦をビッドするかは考え方にもよるが、BothVulであり、N-Sサイドにゲームがあるとは考えられないのでパスが良い。  
Sが3♦をビッドした時にはWが3♠をビッドし、Wがこれをパスするか4♠に上げるかは悩ましい。一方、Sがパスした時、Wは3♠にジャンプビッドする(14hcpであるが、強い♠6枚と強い♠4枚あるので17~18ptに評価出来る)。これに対してはEで4♠にレイズする(左下)。  
4♠/W OL: ♥K Declarerから見てルーザーは少なくとも♥1♦1♠1は避けられないので、4メイクには♠QがSにあることに賭けるしかない(Nの♠がQシングルトンかダブルトンである確率は約17%)。そこで♥Aで勝ち、♠Jを引くこのプレーで♠Qが捕まるので4メイク確実となる。  
尚、OLが♦Aの時は♦Kで♥のルーザーが捨てられるので5メイク。  
16テーブルのチーム戦: 4♠/W 7T; 3♠/W 7T; 3♦/N 2T(2ダウン)。  
4♠に到達するのが簡単でないことを示している。特に、Sが3♦をビッドした時には、Eで4♠のゲームに到達する判断は悩ましい。

No. 5

♠ 62  
♥ KJ73  
♦ QJ1064  
♣ 105

♠ Q10874  
♥ AQ985  
♦ —  
♣ 942

	N	
W		E
	S	

♠ AK9  
♥ 42  
♦ AK72  
♣ AK87

♠ J53  
♥ 106  
♦ 9853  
♣ QJ63

N	E	S	W
P	1♣	P	1♠
P	2♦	P	2♥
P	3NT	P	4♥
P	4♠	end	
N	E	S	W
P	1♣	P	1♥
P	2NT	P	3NT
end			

Eは21hcpあるが♥に不安があるので、1♣でオープンするのが普通 (リビッドで♦をビッドしてリバースの予定)。Wは♦ボイドのメジャー5-5のハンドで両スーツを示したいので1♠でレスポンスし、リビッドで♥を示す予定(1♥でレスポンスしてEのリビッドが1NTであった時リビッドに困る)。Wの3NTには4♥をビッドして♠♥5-5であることを示し、Eが選択(左上)。(2NT: 20~21hcp) Eが♥にストッパーがないのに2NTでOPLした時は、3♥のJacoby TR。  
經由で、4♥をビッドして♥も5枚あることを示し、4♠に収まる(右)。6♠に未練があるが...  
4♠/W OL: ♦Q ダミーの♦Aで勝つ(ハンドから♣2)。ウイナーはほぼ♣2♦2♥1♠5あり、4メイクは固い。そこでSの♠がJXXXの4枚である場合(確率約13%)に備えて、♠A♠Kを勝ち3-2の分かれを確認後、♠を集めてから、♥Kのフィネスを試みるが不成功で5メイク(♥の4枚目が勝てる)。  
4♠/E OL: ♥10 4メイクほぼ確実なので♥Aで勝ち、上記同様プレーで5メイク。  
3NT/E OL: ♣3 4メイクは固い。

No. 6

♠ 2  
♥ Q87643  
♦ Q5432  
♣ 9

♠ 1076  
♥ 1092  
♦ 986  
♣ AK63

	N	
W	—	E
	S	

♠ AQJ9853  
♥ J  
♦ A10  
♣ 754

♠ K4  
♥ AK5  
♦ KJ7  
♣ QJ1082

N	E	S	W
	1♠	X	2♠
3♥	4♠	P	end
		(X)	
N	E	S	W
	1♠	X	2♠
3♥	4♠	P	P
5♦	P	5♥	end

Eは強い7枚♠と12hcpあるので1♠でOPするのが普通(Vulで7トリック 確実にあるので3♠でオープンする(右)ことも考えられるが、余り薦めない)。1♠に対しては強いハンドのSはテイクアウトダブルを掛ける(或いは1NTのOCをする人もあるかも?)。  
SのダブルにはWは2♠をビッドし、Nは3♥をビッドするのでEは4♠をビッドする。  
Sはこれにhcpを頼りにダブル(ペナルティ)を掛けるかパスするか悩ましい。SがパスするとNonVulのNで5♦をビッドし、Sが5♥に直すことも考えられる。  
4♠X/E OL: ♥K続いて♥A Declarerはハンドでラフする。Declarerで考えて、♠Kが捕まれば4メイク可能と考えられる。そこで♣Aでダミーに入り、♠10を引いて♠Kのフィネスを試みるが成功せず1ダウンになる。  
5♥/N OLは難しい! ♠Aの時は次に♣を出さないと5メイクされる。  
16テーブルのチーム戦 4♠X/E 5T: 5♥/S 6T: 3♥/S 2Tであり、4♥/Sは1Tのみであった。大半は4♠をビッドし、これにダブルを掛けるか、5♥をビッドするか(NonVulのNは保険の意味が大きい)であった。

No. 7

♠ QJ852  
♥ 9  
♦ AQ102  
♣ J97

♠ A4  
♥ Q5  
♦ J9763  
♣ K854

	N		
W	+	E	
	S		

♠ 973  
♥ K7432  
♦ 5  
♣ AQ62

♠ K106  
♥ AJ1086  
♦ K84  
♣ 103

N E S W  
1♠ P 2♣ P  
2♠ end

N E S W  
1♠ P 2♥ P  
2♠ P 3♠ end

3rdハンドのNが1♠でオープンした場合、Sのレスポンスはどうか？ 最初パスしているが、♥5枚オープンハンドに近い強さをしているので2♥、或いは♠3枚サポートと11hcpでDrury 2♣が良いか。2♥は♥5枚以上の11~12hcpは示すが絶対のForcingではなく(♠は2枚以下を暗示)、パスされることもあるので、後者のDrury 2♣が良い。Sのハンドは最初に1♥でオープンしたいハンドでもあるが、VulのDealerで11hcpしかないのでパスが普通。このハンドでオープンするのは異なるビッドシステムとなるかも。Nは2♣に対してはサインoffの2♠をビッドする。2~3♠/N OL: ♦5→♦4→♦J→♦Q でDeclarerに取っては好都合なOLとなり、3メイク確実にする(シングルトリードは賭け)。OL: ♥3 ダミーの♥Aで勝つ。♠4♥1♦3のウイナーはほぼ確実ながら、3メイクには1個不足。明確な見通しはないが♠10を引きそのまま流す。これが勝つので、♠Kを出しWが♠Aを勝ち、♥Qを出してくるとこれをハンドでラフする。♠を集めた後♦の3-3の別れ、或いは♦JがWにあると考えて♦Jのフィネスを狙う。このため♦Aを勝ち、♦2を出すとEがショウアウトして♦Jの在処が判明するので♦が4個勝てて3メイクする。

No. 8

♠ J8  
♥ 10964  
♦ Q32  
♣ AJ63

♠ Q97432  
♥ AQ7  
♦ A76  
♣ 5

	N		
W	X	E	
	S		

♠ K  
♥ KJ32  
♦ KJ1095  
♣ Q72

♠ A1065  
♥ 85  
♦ 84  
♣ K10984

N E S W  
P 2♠ X(P) 3♠  
P 4♠ end  
(P)

12Tのチーム戦のコントラクトは 2♠/W 2T; 3♠/W 5T; 4♠/W 5Tであった。ペアーによりハンドの評価に差が出た結果と考えられる。Eのハンドで3♠を常に4♠にレイズする人はかなり強気と云える。

Eの2♠レイズにSがダブルを掛けるかも知れないが(♠Kシングルトンが役立たないのでパスが普通)、Wは♠6枚あるので3♠にレイズする。Eがこれをパスするか4♠にレイズするかは微妙な判断。4♠/W OL: ♥10→♥8→♥K→♥A Declarerで考えて♠が2-1の分かれの時、♠1♦1と♠0~1のルーザーがあるが4メイクは出来そうである。ハンドから♠2を出し♠Aで勝つと♠Kが落ちるので簡単に5メイクになる(KJXの3枚が抜けている10枚カードなのでフィネスはしない)。OL: ♦2の時はハンドの♦Aで勝ち、上記と同様のプレーで♠を集め、♥Kのフィネスをして5メイク。

No. 9

♠ 4  
♥ AQ7543  
♦ 10982  
♣ 87

♠ KQ96  
♥ KJ8  
♦ 743  
♣ AQ3

	N		
W	—	E	
	S		

♠ 102  
♥ 10962  
♦ KJ5  
♣ J942

♠ AJ8753  
♥ —  
♦ AQ6  
♣ K1065

N E S W  
P 1♠ P 2NT  
P 3♥ P 4♣  
P 4♦ P 4♠  
P 4NT P 5♠  
P 6♠ end

N E S W  
2♥ X 3♥(P) 3♠  
P 4♠ end

NがパスしてEの1♠にWのレスポンスはJacoby2NT(4枚サポートと15hcp upを示すCoven. 左上)にピッタリだが、これを使用しない場合は難しい。暫定的2♣をビッドし(右)Nの3♠に♦に不安を抱えながら4NTでスラムトライすることになるか4♣で収めるかである。尚、DeclarerのNが2♥のPreemptive OPLした場合は、Eがダブルを掛けWが3♠のテイクアウトをするがスラムトライは難しい(Preemptive 成功)。6♠/E OL: ♥10 Declarerで考えると6メイクには♦で2ルーザーにならないことが必要。♦で1ルーザーに来るのは ①♦KがNにありフィネスが成功する。②♣が3-3の分れか4-2でも♦Jが2枚の方にあり、ハンドの♣10でダミーの♦が捨てられる。③♥QがSにありOLにダミーの♥Jを出した時に、Nから♥Aが出て♥Kが勝てるようになる等の場合が考えられる。実際のプレーではこの3つを試すように③→②→①の順にプレーを組み立てる(フィネスは最後の手段)。OLにダミーの♥Jを出すもNからは♥Qが出るのでハンドでラフ。♠A♠Kと勝ち、ダミーから♥を引いてハンドでラフ、♠Aでダミーに渡り、再度♥を出してハンドでラフした後、♣Q♣Kと勝つと、♣JがSに残ってしまった。♣ラフでダミーに入り♦のフィネスに賭けるか？(成功率50%)。100%メイク出来る方法がある。♣10を出してSが♣Jの時にダミーから♦を捨てるスローイン。Sからは♦か♥を出すしかなく、♦AQへの打ち込みか、ラフ&スラフで6メイクする。このために前もってダミーの♥をラフして無くしておく必要がある。



No. 10

♠ Q8  
♥ K9  
♦ AQJ9763  
♣ 102

♠ J109652  
♥ J85  
♦ —  
♣ Q854

N	
W	E
S	

♠ 4  
♥ AQ1074  
♦ 10854  
♣ KJ3

♠ AK73  
♥ 632  
♦ K2  
♣ A976

N	E	S	W
	P	1♣	P
1♦	1♥	1♠	P
3♦	P	4♦	P
5♦	end		

  

N	E	S	W
	P	1♣	P
1♦	P	1♠	P
3♦	P	3NT	end

Nの1♦レスポンスに最初パスしたEが1♥のOCを掛けるかどうかで、コントラクトが3NT/S、5♦/Nに別れる。

5♦/N OL: ♠4 Declarerはハンドの♠Qで勝つ。ウイナーは♦7♠3♣1あるので5メイク確実。♦を4巡集め♠の3巡目でハンドの♣を捨てた後、6メイクを狙って、ダミーから♥2を引いて♥Kのスチールを試みるが、成功せず5メイク。

3NT/S OLが♥の場合のみ1ダウン(但し、Wが♥の1or2巡目に♥Jを出さないとブロックするので**注意が必要**)。他のスーツのOLでは頭から♦7♠3♣1を取って5メイク確実。

No. 11

♠ 10  
♥ Q8  
♦ AK10853  
♣ AJ65

♠ K843  
♥ 765  
♦ J7  
♣ 9842

N		
W	X	E
	S	

♠ Q976  
♥ J1093  
♦ Q42  
♣ 73

♠ AJ52  
♥ AK42  
♦ 96  
♣ KQ10

N	E	S	W
		1NT	P
2♣	P	2NT	P
4♦	P	4NT	P
5♦	P	6♦	P
end		(6NT)	

(2♣Minor Stayman)

Sの1NTのOPに対して、強い6枚♦と14hcpあるNは6♦or6NTを意識したビッドをする必要がある。ペアによりビッドが異なる。

① 2♣のMinor Stayman経由で4♦にジャンプして良い6枚♦の強いハンドを示す。② 3♣をビッドして良い6枚♦とスラムを狙える強さ(14hcp up)を示す(右)。最近②が使用されることが多い。Sは♦が2枚でやや不安ながらキーカードが2枚欠けていなければスラムに行く決心で4NTでキーカードを尋ねて0-3枚の返事に6♦をビッドする。6NTをビッドすることも考えられる。

N	E	S	W
		1NT	P
3♣	P	4NT	P
5♦	P	6♦	P
end		(6NT)	

(3♣:強い6枚♦のスラムトライ)

6♦/N OL: ♥J or ♠6 何れにしても♥Q or ♠Aで勝ち、♦A♦Kを勝つと♦3-2の分かれで後は♦Qに負けるだけで6メイクは固い。但し、Wの♦がQJXXに備えた(確率約10%)安全プレーをするなら、♦Aの後、ダミーに渡り、♦を引いてWから♦QorJが出なければハンドから♦10を出すプレーをすることで、6メイクは固い。

6NT/S OL: ♠3 1ダウンになる。OLが他のスーツの場合、上記6♦の場合と同様のプレーで6メイクする。

No. 12

♠ A3  
♥ Q76  
♦ KJ84  
♣ AK85

♠ 109654  
♥ AK  
♦ 10953  
♣ 72

N	
W	E
	S

♠ KQJ72  
♥ 98543  
♦ A  
♣ J9

♠ 8  
♥ J102  
♦ Q762  
♣ Q10643

N	E	S	W
			P
1NT	2♦	P	4♠
end			

Nの1NTに対して、5-5のMajorと11hcpあるEはNonVulでもあるので2♦のHamilton OCを掛ける。これに対するWのビッドは? ♥AKの7hcpしかないが、♠は10枚フィットで、もし、パートナーが1♠でOPした時は一気に4♠をビッドするハンドである。Nが1NTでOPしているが、♠はほぼ1ルーズー以下で済む可能性が高く、♥にルーズーは無いと推定できる。また、EのMinorは3枚しかないことが判っているので、悪くても4ルーズーしかないと考えて一気に4♠をビッドする。

なお、EがOCをしない時は1NT/Nがそのまま決まる。

4♠/W OL: ♣K 続いて♣Aを勝ち♥2(Sに♥AorKを期待して)。Declarerはハンドの♥Aで勝ち、♠Aを追い出せば、♠が2巡で集まるので、♥と♦のクロスラフで4メイクは固い。

1NT/N OL: ♠K Declarerは♠Aで勝ち♣を5枚勝って(この間のDefense側のディスクードは注意)、♦で負ける。♠が変な形でWでブロックしない限り、1ダウンになる。

No. 13

♠ KJ3  
♥ KJ10  
♦ 10743  
♣ AJ5

♠ —  
♥ 9765432  
♦ K2  
♣ 10932

N	
W	E
S	

♠ Q852  
♥ AQ  
♦ J985  
♣ Q76

♠ A109764  
♥ 8  
♦ AQ6  
♣ K84

N E S W  
1♦ P 1♠ P  
1NT P 3♠ P  
4♣ end

N E S W  
1♦ P 1♠ P  
1NT P 2♣ P  
2♠ P 4♠ end

Nの1NTリビッドにSが3♠にジャンプしNが4♠をビッドするのが普通。また、Nの1NTにSで2♣をビッドするConvention (Check back Stayman: ♠5枚以上でInvitation以上の強さのハンド)も使用される(左下)。Nの2♠は♠3枚サポートを示す。  
4♠/S OL: ♥5→♥J→♥Q→♥8 Eは♥Aを勝ってから♦5をリターンしようとするか、♥Aを残したまま♦5を出すかである。♥Aが出された時は、ハンドでラフする。Declarerは♠でルーザーが出ない時は4メイク確実に、♠で1ルーザー出る場合は、♦Kか♣Qのフィネスが成功すれば4メイクするとして、プレーを組み立てる。そこでハンドから♠6を出すとWがショウアウトするが、♠ではルーザーが出ないので4メイクする。一方、Eが♦5をリターンした時はハンドから♦Qを出さずに♦6を出し、Wの♦Kが勝つ。Wが何を出しても4メイクは固い。仮にWで♦Jに勝たれたとしても次の機会に♦Kのフィネスおよび♣Qのフィネスが可能である。しかし、Eからの♦5にハンドから♦Qを出した時、♦Kに負けると♦で2ルーザー確実に、4メイクは♣Qのフィネスに賭けることになる、1ダウンになる可能性が多くなる。

No. 14

♠ Q10954  
♥ 97532  
♦ 84  
♣ 3

♠ K3  
♥ A1064  
♦ AK1097  
♣ QJ

N	
W	X
S	E

♠ AJ2  
♥ Q8  
♦ J2  
♣ AK8654

♠ 876  
♥ KJ  
♦ Q653  
♣ 10972

N E S W  
1♣ P 1♥  
P 2♣ P 3♦  
P 3NT P P  
end  
or 4NT  
P 5♦ P 6NT  
end

Wは強いハンドであるが♥が4枚あり、2♦のジャンプレスポンスにはややhcp不足(?)である。Wの1♥に対して、Eが1NTでなく2♣をビッドする(普通♣は6枚以上)。また、Wの3♦のジャンプシフトにEは3NTをビッド。Wがこれをパスするかスラムを狙うかは微妙な判断。  
Eが3NTをビッドしたので♠に何がしかの絵札(QXX以上)を持っていると考えられる。そこで、Wは4NTでスラムトライするのが面白い(最悪の時は5♠をビッドし5NTで止まる予定)。Eのレスポンスは5♦(Key-Card 3枚: A2枚と♣Kあり)であったので6NTをビッドする。  
6NT/E OL: ♠8 ウイナーは♣6♦2♥1♠2の11個しか無く、後1個何で勝つか? また、Declarerへのエントリーは♣以外には♠Aのみであるので注意が必要。♦Qに負けて♦で12個目のウイナーとする計画で、OLはダミーの♠Kで取り(Eで勝つと♣を取るエントリーがなくなる)、♣Q♣Jを勝ってから、♦A♦Kを取って♦10を出して♦Qに負けると、容易に6メイク出来る。

No. 15

♠ A854  
♥ AJ6  
♦ AJ4  
♣ AK10

♠ K97  
♥ 9  
♦ 108762  
♣ Q743

N	
W	
S	E

♠ J32  
♥ 1052  
♦ Q9  
♣ J9852

♠ Q106  
♥ KQ8743  
♦ K53  
♣ 6

N E S W  
P P  
2NT P 3♦ P  
3♥ P 4NT P  
5♣ P 6♥ end  
(6NT)  
(2NT 20~21hcp)

強いハンドのNは2NT(20~21(22)hcp)でOPするのに対し、良い6枚♥と10hcpあるSは6♥or 6NTの可能性を念頭にビッドする必要がある。そこでSは3♦のJacoby TR. でレスポンスし、Nに3♥をビッドさせる。次にSが4♣をビッドするのがドンナ意味になるかはペアーの約束による(スラムトライであるが、Gerber Conv. またはA、ボイド、シングルトンを示す等)。ここでの4NTは接近原理ではなく、♥をトランプにしたキーカードaskingと解釈できる。  
何れにしても6♥ or 6NTには到達したい。  
6♥/N(S) OL: ♥2 Declarerで考えてウイナーは♥6♠1♣2♦2の11個は確実だが、あと1個を何処で増やすか? ♠or♦で増やすしかないが、①♠KがEにある ②♠JがEにある ③♦QがWにある場合のどれを想定してプレーするか。♥を集めた後、①か②を想定してハンドからダミーに向けて♠4を出し、ダミーから♠10or♠Qを出す。これが成功しない時は③を試す。先に③を試すとこれが成功しないと、1ダウンが確定する(①or②は試せない)。尚、Nから♠4が出されて、Eに♠Kがある場合♠Kをダックするのはかなり勇気のいるプレーであるを考えれば ②を選択するのが良い。  
6NT/N OL: ♣5 上記の6♥の場合とほぼ同じプレーになる。

No. 16

♠ Q1064	♠ AK87				
♥ 983	♥ 762				
♦ K92	♦ 754				
♣ Q87	♣ K93				
♠ 32	♠ 943				
♥ KQJ105	♥ 7432				
♦ AQJ103	♦ 9764				
♣ 5	♣ 73				
<table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">N</td> <td style="padding: 2px;">E</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">W</td> <td style="padding: 2px;">S</td> </tr> </table>		N	E	W	S
N	E				
W	S				
♠ J95	♠ 943				
♥ A4	♥ 7432				
♦ 86	♦ 9764				
♣ AJ10642	♣ 73				

	N	E	S	W	
				1♥	Eは♥3枚サポートと10hcpあるハンドであるが♠4枚あるので1♠でレスポンスする。Wの2♦リビッドには3♥にジャンプレイズ (Invitation) する。
P	1♠	2♣	2♦		
P	3♥	P	4♥		4♥/W OL: ♣Q→♣K→♣A→♣5 Sは♣Jを出す。Declarerはラフし♥を出して来るのでSは♥Aで勝ち、♣10を出す。Declarerがラフすれば、Declarerの♥が最初5枚なら、NIにはWと同数の♥2枚が残っていることになる。Declarerは♠Aでダミーに渡り、♦4を引いてハンドから♦Qを出して
end					♦Kのフィネスをする。Nが♦Kで勝ち何を引いて来ても、♥を集めて4メイク出来る。しかし、Nが♦Kをダックして♦Qに勝たせた時はどうなるか？ Declarerは残りの♥を1回だけ集めて♠Kでダミーに渡り、♦を引いて再度♦Kのフィネスをする。この時Nが♦Kを勝ち、♠Qを出すとDeclarerはラフせざるを得ず、1ダウンになる。Declarerのプレーとしては間違いではない。NのDefenseプレーの問題だが、このハンドではDeclarerが♦をビッドしている
					ので♦Kを勝ちそこなうことはないと考えて1度はダックすべきである。

No. 17

♠ A10	♠ 943				
♥ Q108	♥ 7432				
♦ AKQJ5	♦ 9764				
♣ 1092	♣ 73				
♠ 875	♠ 943				
♥ K965	♥ 7432				
♦ 108	♦ 9764				
♣ A864	♣ 73				
<table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">N</td> <td style="padding: 2px;">E</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">W</td> <td style="padding: 2px;">S</td> </tr> </table>		N	E	W	S
N	E				
W	S				
♠ KQJ62	♠ 943				
♥ AJ	♥ 7432				
♦ 32	♦ 9764				
♣ KQJ5	♣ 73				

	N	E	S	W	
	1NT	P	2♥	P	Nの1NTのOPに17hcpと良い5枚♠のあるSは6♠or6NTのスラムを意識してビッドする必要がある。取敢えず2♥のJacoby TR. で♠5枚を示し、Nの2♣に何をビッドするかが問題である。
	2♣	P	4NT	P	ここで4NTをビッドするのはドンナ意味になるか？ キーカードの枚数を尋ねるビッドか、接近原理でhcpの強さを尋ねるのかはペアーによる。Sの4♣はGerber Conv.と考える。なお、Sは3♣をビッドして2nd
	5NT	P	6NT	end	(4♣:2A)
	(5♥)				
	N	E	S	W	
	1NT	P	2♥	P	スーツを示しながらNの♠の枚数をチェックしてからスラムトライするのが良い(右)。ここでも4♣(Gerber)、4NTのスラムトライの意味は
	2♣	P	4♣	P	パートナー間の一致が重要。
	4♣	P	6NT	end	6NT/N OL: ♥2 Declarerは直ぐ勝てるウイナーは♠5♥1♦5の11個であるので、Eの♥Kを期待して、♥J出すがWの♥Kが勝つ。ここでWが♠Aを勝たないと、6メイクされる。
	(4♣:2A)				OL: ♥以外の時は、簡単に6メイクになる。

No. 18

♠ QJ7	♠ 432				
♥ QJ108	♥ A743				
♦ 94	♦ AKQ				
♣ QJ96	♣ J54				
♠ AK985	♠ 432				
♥ 5	♥ A743				
♦ J103	♦ AKQ				
♣ A872	♣ J54				
<table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">N</td> <td style="padding: 2px;">E</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">W</td> <td style="padding: 2px;">S</td> </tr> </table>		N	E	W	S
N	E				
W	S				
♠ 106	♠ 432				
♥ K962	♥ A743				
♦ 87652	♦ AKQ				
♣ K10	♣ J54				

	N	E	S	W	
		1♣	P	1♠	1♣にいして1♠でレスポンスしたWはEの1NTリビッドには、5枚♠とInvitation以上の強さがあるので2♣(Check-Back-Stayman)をビッドして、♠のサポートとハンドの強さを尋ねる。Eは2♥をビッドして
	P	1NT	P	2♣	♠3枚で強いハンドを示すので、Wは4♣をビッドする。Check-Back-Staymanを使用しない時のWのリビッドは難しく、♥に不安があるが、2NTのInvitationになりそうである(左下)。
	P	2♥	P	4♣	4♣/W OL: ♥Q Declarerからみて、♠で1ルーザー出るので、♥1♦3♣1と♠4では1個不足。何処で増やすか？ ① ♣が3-3の分れで4枚目が勝てる。② ♥をハンドで3回ラフしてハンドの
	end				♠を5枚とも勝てるようにするダミーリパーサルプレー。後者は♠が3-2の分れで♠3枚の方が♦2枚以上あれば成功するので優れている。プレーの組立てはOLを♥Aで勝ち、♥をハンドでラフ。♠A♠Kを勝ってから、♦Aでダミーに入り、♥を出してハンドでラフ、再度♦Kでダミーに入り最後の♥をハンドでラフすれ4メイクする(途中♥をオーバーラフされても良い)。
	N	E	S	W	
		1♣	P	1♠	3NT/E OL: ♥2 (4-4の分れらしい) 3巡目の♥を♥Aで勝ち、♠2を出してダミーからもLowを出して負ける(♠が3-2の分れで4個勝てるようにするため)。これが成功して3メイクする。
	P	1NT	P	2NT	
	P	3NT	end		

No. 19

♠ 5  
♥ 643  
♦ 962  
♣ KQ10854

♠ AKQ4  
♥ K82  
♦ KJ5  
♣ J92

	N	
W	—	E
	S	

♠ 109632  
♥ AJ75  
♦ AQ  
♣ 63

♠ J87  
♥ Q109  
♦ 108743  
♣ A7

N E S W Wの1NTにMajor5-4; 11hcpのEはStaymanConv, でレスポンスし、2♠のリビッドを4♠にレイズする。  
P 2♣ P 2♠ 4♠/W OL: ♣K Sは♣Kを♣Aでオーバーテイクして、♣7をリターンする。♣10で勝ったNは♣Qを出してきた。Declarerのプレー方針? ♣の3巡目をダミーでラフして、♠を集めれば、♥Qのフィネスが成功しなくても、4メイク出来るように見える。しかし、♣の3巡目をSにオーバーラフされればどうか?  
P 4♠ end

♥Qのフィネスに賭けることになり、このハンドでは1ダウンになる。  
解決法としては、♣の3巡目をダミーでラフせずに、ダミーから♥5を捨てる(Loser-on-Loser)のが基本的な安全プレー

No. 20

♠ K82  
♥ 873  
♦ AJ2  
♣ KJ75

♠ J109  
♥ KQ65  
♦ 763  
♣ 1084

	N	
W	+	E
	S	

♠ A53  
♥ 10942  
♦ KQ854  
♣ A

♠ Q764  
♥ AJ  
♦ 109  
♣ Q9632

N E S W Nのハンドで1♣でOPするか、パスするかでビッドが大きく変わる。 N E S W  
P P P P 4-3-3-3の11hcpであるので**パスが普通**。しかし、最近は P 1♦ P 1♥ 1♣ X 1♠ 2♥  
P 2♥ P end OPする人がある(1st, 2ndハンドでも)が、成否不明? P P 3♣ P  
Nがパスし、Eが1♦でOPすると簡単に2♥/Wに決まる(左上)。 P P end  
Nが1♣でOPして、Eが1♦のOCを掛けた時は、Sの1♠にNで 1NTをビッドしてそのまま決まる(左下)。一方、Eがダブルを掛けた時は (3♥)  
♣と♥の競り合いになる(右)。  
2♥/W OL: ♣5 ダミーの♣Aで勝ち♥2を引く。Sが♥Aで勝ち、♥Jを出してくればハンドで勝ち、  
♣8を出してダミーでラフする。ダミーから♦Kを出し、Nの♦Aに負ける。Nが♥を出してくればハンドで  
勝ち、♦Qでダミーに入り、♦を引いて、♦Jに負ければ、あと♣を1枚負けるが♠Aをエントリーに残りの  
♦が勝てるので3メイク(ルーザーは♥1♦2♣1)。一方、♥Aで勝ったSから♠4が出された時は♣を2回ダミーでラフして3メイク  
は出来る(ルーザーは♠1♥1♦2)。  
1NT/N OL: ♦K ♦で2ストップあるので2メイクは出来そうである。  
3♣/N OL: ♥10 Defenseから♠が触らない限り♠が2ルーザーになるので、1ダウンになる。

No. 21

♠ 1052  
♥ K96  
♦ 75  
♣ A10832

♠ J63  
♥ 1074  
♦ KJ643  
♣ J7

	N	
W		E
	S	

♠ AQ974  
♥ 32  
♦ A82  
♣ Q95

♠ K8  
♥ AQJ85  
♦ Q109  
♣ K64

N E S W Eの1♠に対してSで2♥のOCを掛けるのが普通。これに対してWは2♠にレイズして、Nが3♥を  
P 1♠ 2♥ 2♠ ビッドし、♥と♠の競り合いとなる。  
3♥ 3♠(P) P end 一方、Sがダブルを掛けるとWが2♠をビッドして、Nがパスには惜しいので3♣でテイクアウトする。  
(4♥) (Sは15hcpあるが、ダブルは薦められない。良い5枚♥でOCする方が良い; 1NTのOCをすることも考えられる)。  
N E S W 3♥/S OL: ♠J→♠2→♠A→♠8 Eは♠4をリターンする。Declarerは♠Kで勝つ。ルーザーを  
P 1♠ X 2♠ ♦2♠1♠1に抑えられれば良いが、ダミーの♥が無くなると♦が3ルーザーになる可能性があるので  
3♣ P end 注意が必要。♦を2回負けて♦の3巡目をダミーでラフするプレーも考えられるが、♥A♥Qを勝ち、♣が  
3-2の分かれと考えると♣4を出し、ダミーからもLowを出し負ける。Defenseが♦を攻撃して来ても  
3枚目はダミーの♥Kでラフ出来るので3メイクは固い。若し、♣で勝ったDefense(E?)が♦を攻撃しなければ4メイクになる。  
3♠/E OL: ♥A (Nは♥9) Sは♥5を続けてNが♥Kで勝つ。この後♣A、♣3とすると1ダウンになる。なお、♦のフィネスをしな  
いと2ダウンになる。  
3♣/N OL: ♥3 Declarerはハンドで勝ち、♣を2巡集めて♥を走ると、Eにどの段階でラフされても3メイクは固い。

以上